

三洋テクノマリン(株)

自然と人間との調和を創造する環境コンサルティングを通して、人々の健康で豊かな生活に貢献。

事業内容： 環境総合コンサルタント

従業員数： 186名 (2021年9月1日現在)

主な技術者：

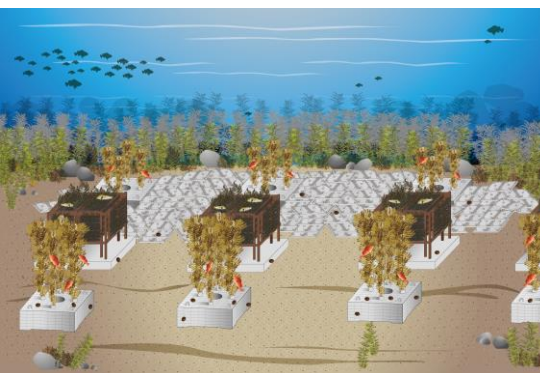
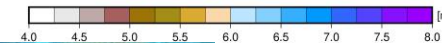
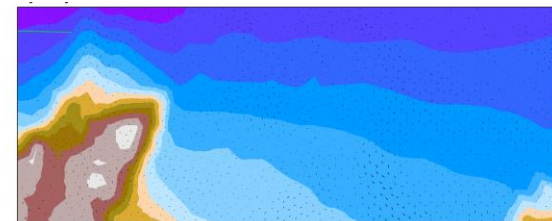
技術士(72名), 海洋・港湾構造物維持管理士(4名), 海洋・港湾構造物設計士(2名), 港湾海洋調査士(49名), 水産工学技士(3名), 環境計量士(7名), 公害防止管理者(7名), 環境アセスメント士(4名), 測量士(14名), 一級水路測量技術検定(6名), 生物分類技能検定(16名)

主要取引先：

中央官庁 [国土交通省、農林水産省、環境省他]
 地方自治体 [各都道府県、市町村]
 独立行政法人、各種社団・財団法人
 民間各社 [電力、建設、鉄鋼、水産・商社他]

主な業務分野：

- ・ 環境コンサルタント
 - 里海づくり関連事業 (藻場・干潟・浅場造成)
 - 海洋環境保全 (放射線関連事業、海洋投入処分、シミュレーション (ごみ)、底質改善)
 - 防災 (ハザードマップ)
- ・ 建設コンサルタント
 - 環境アセスメント
 - 港湾・海岸の維持管理 (維持管理計画、航路埋没・海岸浸食)
 - 港湾・海岸の施設整備 (施設の設計、静穏度解析・シミュレーション)
 - 再生エネルギー開発 (現地調査、各種解析)
- ・ 水産コンサルタント
 - 水産基盤整備事業 (水産資源調査、漁場造成、漁場環境保全)
 - 水産振興 (エコラベル、漁場経営判断)



MOBAに関する現在の取組、関心を有する取組、要望等

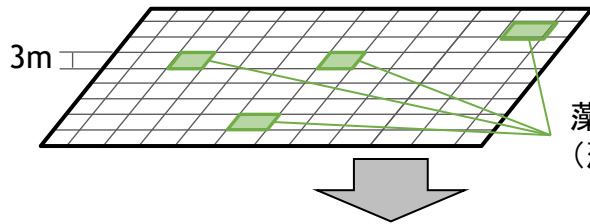
【取組】

衛星画像を用いた藻場・干潟分布域把握

衛星画像解析の手順

①現地調査において、藻場が確認された地点の画素を抽出

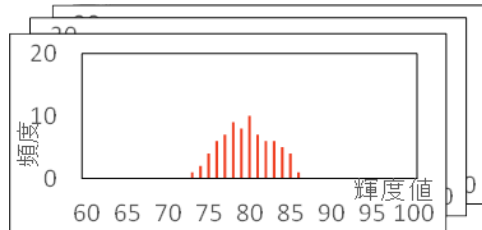
各藻場タイプ（アラメ、ガラモ、アマモ、その他）において被度階級ごと（75%以上、50%以上、25%以上、5%以上）に教師データを作製。



藻場が確認された地点
(藻場タイプ、被度階級別)

②藻場が確認された画素の輝度のヒストグラムを作成

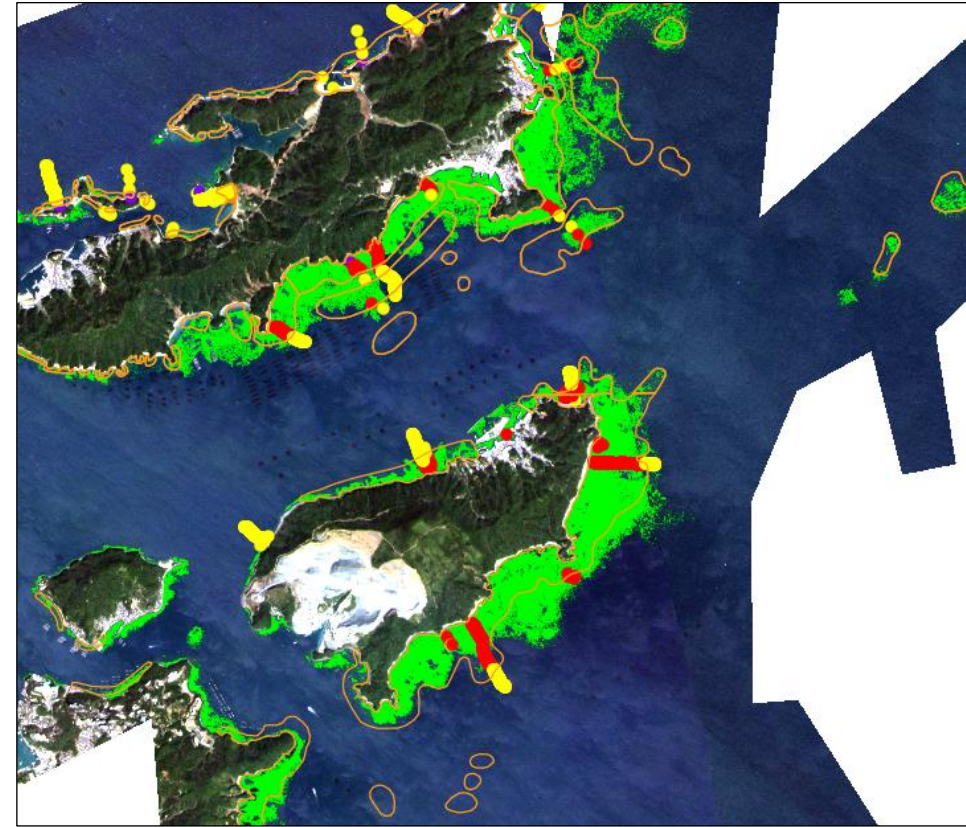
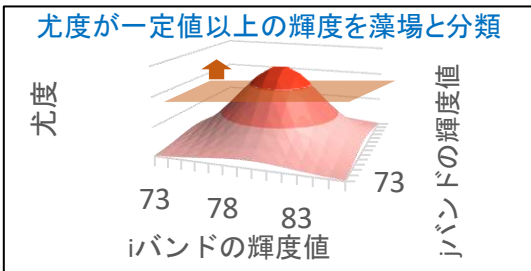
衛星画像（Planet）で観測された3種類の波長帯について、それぞれヒストグラムを作成。



③輝度と尤度(藻場である確率)の関係を整理

藻場に該当する輝度の範囲を抽出するため、それぞれの波長帯の輝度を変数とする、輝度と尤度の関係を整理。

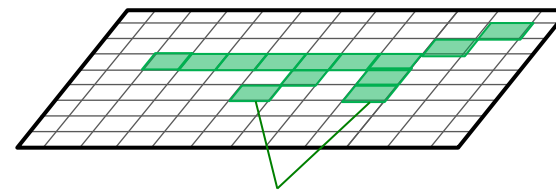
※右図はイメージのために、iバンドとjバンドの2種類の波長帯を変数としているが、実際には3種類の波長帯の輝度を変数としている。



- アマモ (現地調査)
- アラメ (現地調査)
- ガラモ (現地調査)
- その他藻 (現地調査)
- 藻場なし (現地調査)
- 藻場 (解析結果)
- 第5回自然環境保全基礎調査

正解率84.0%

現地調査を実施していない海域においても、藻場である確率が一定値以上の画素については、藻場と分類。



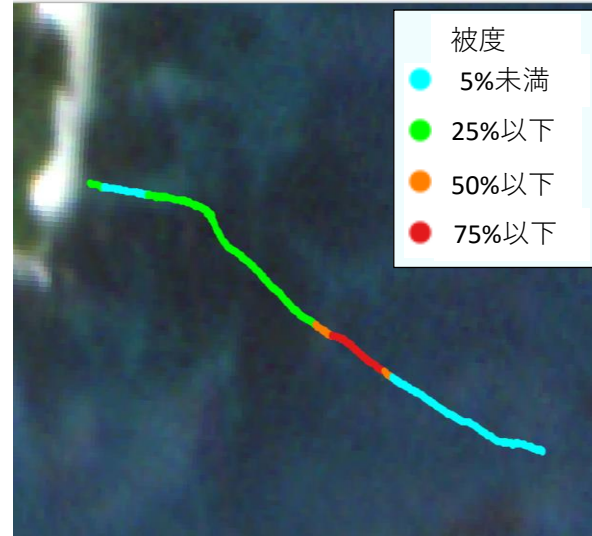
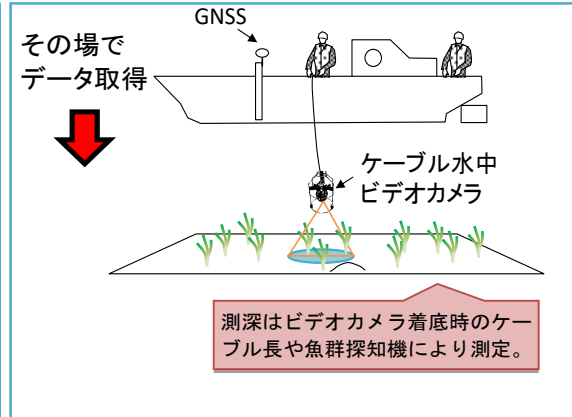
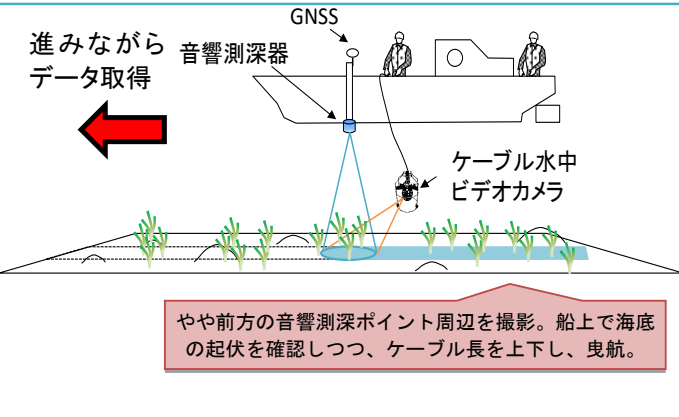
第3回宇宙開発利用大賞（平成30年） 環境大臣賞受賞



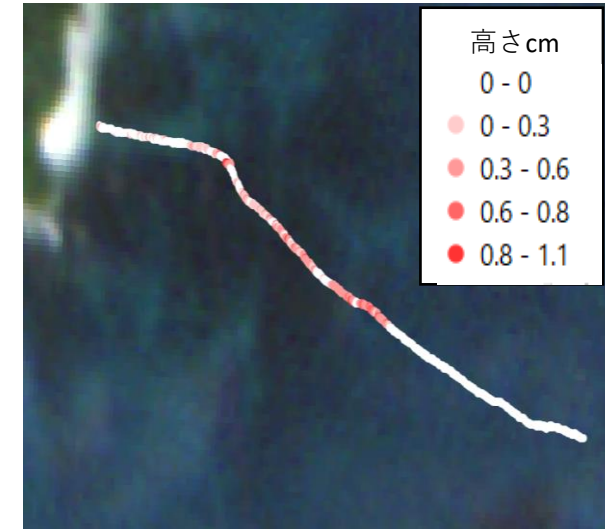
【取組】

衛星画像を用いた藻場・干潟分布域把握

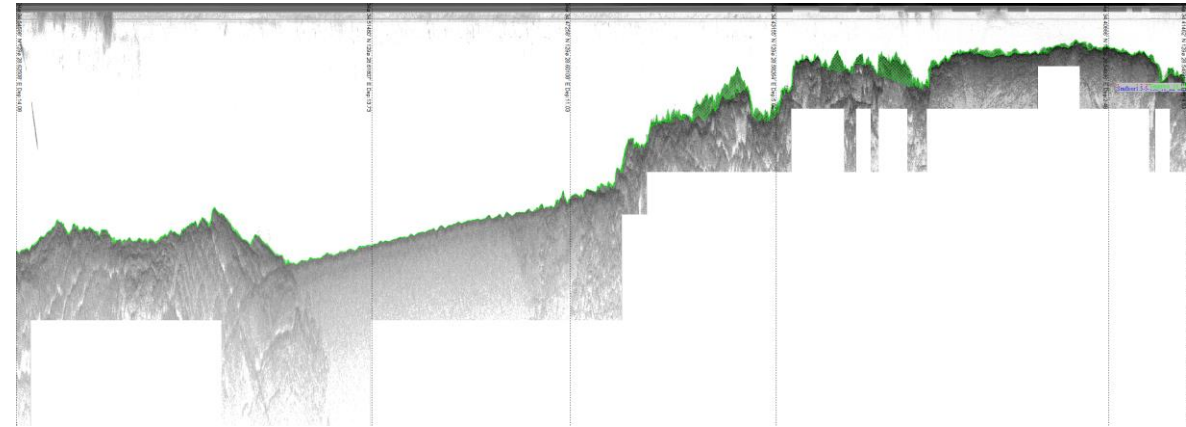
教師データの取得方法



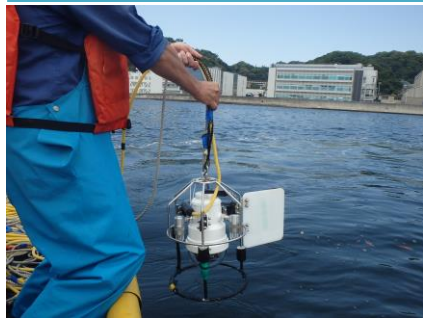
ビデオカメラによる観察結果



音響データから高さを推定



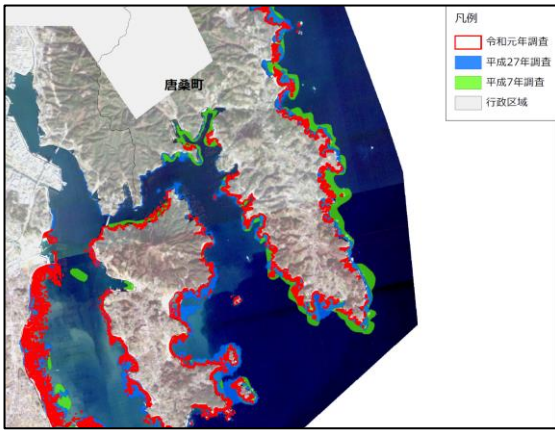
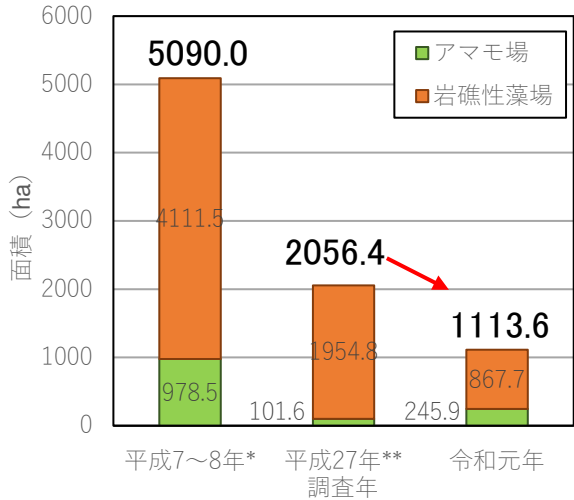
・現地調査の効率化、高精度化へ対応



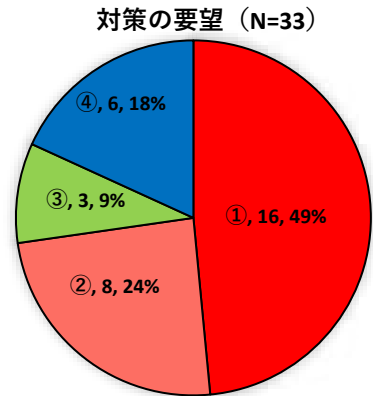
【取組】

藻場ビジョンの策定・藻場造成

衛星画像による藻場分布域の把握



漁業者ヒアリングによる現況把握

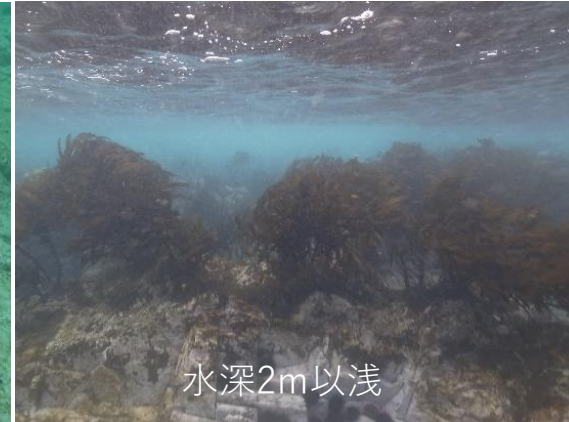
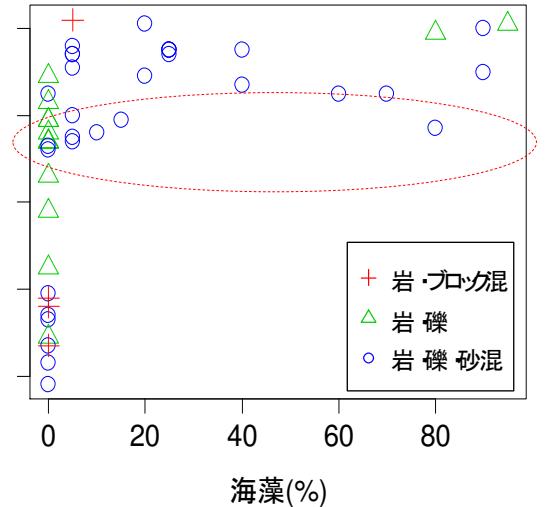
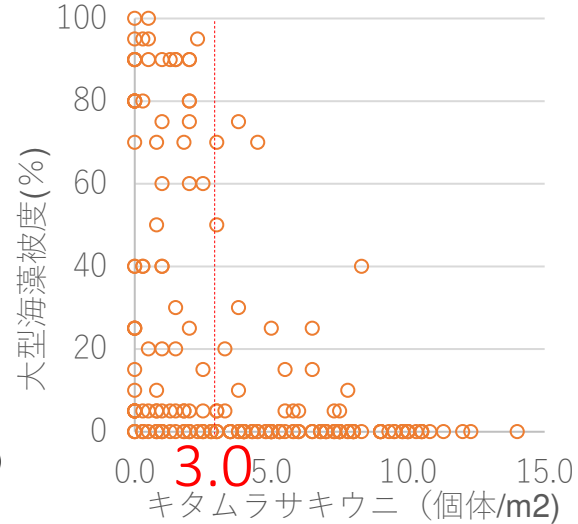


- ① やりたい (維持管理体制も構築可能)
- ② やりたいが事業費の支援が必要
- ③ 事業費がないと何とも言いえない
- ④ 藻場の減少を感じていない

《藻場再生や維持管理について》

- ・「磯焼け回復後の漁業への関連付けが課題」
- ・「まず一か所でよいので確実に成果を上げるべき。そうすることで全体が活性化する」
- ・「対策の結果を確認することが難しい」
- ・「漁業が多忙であり藻場管理に手が回らない」

現地調査による現況把握



磯焼け対策を行う動機付けが少ないこと、具体的な行動手段・目標が不明確であることが明らかとなった。

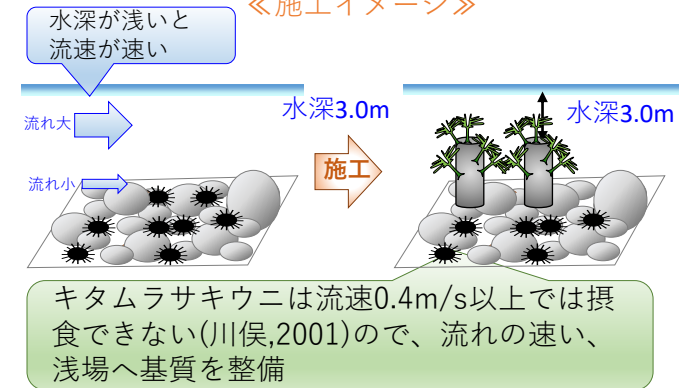
【取組】

藻場ビジョンの策定・藻場造成

藻場造成計画

施工イメージ

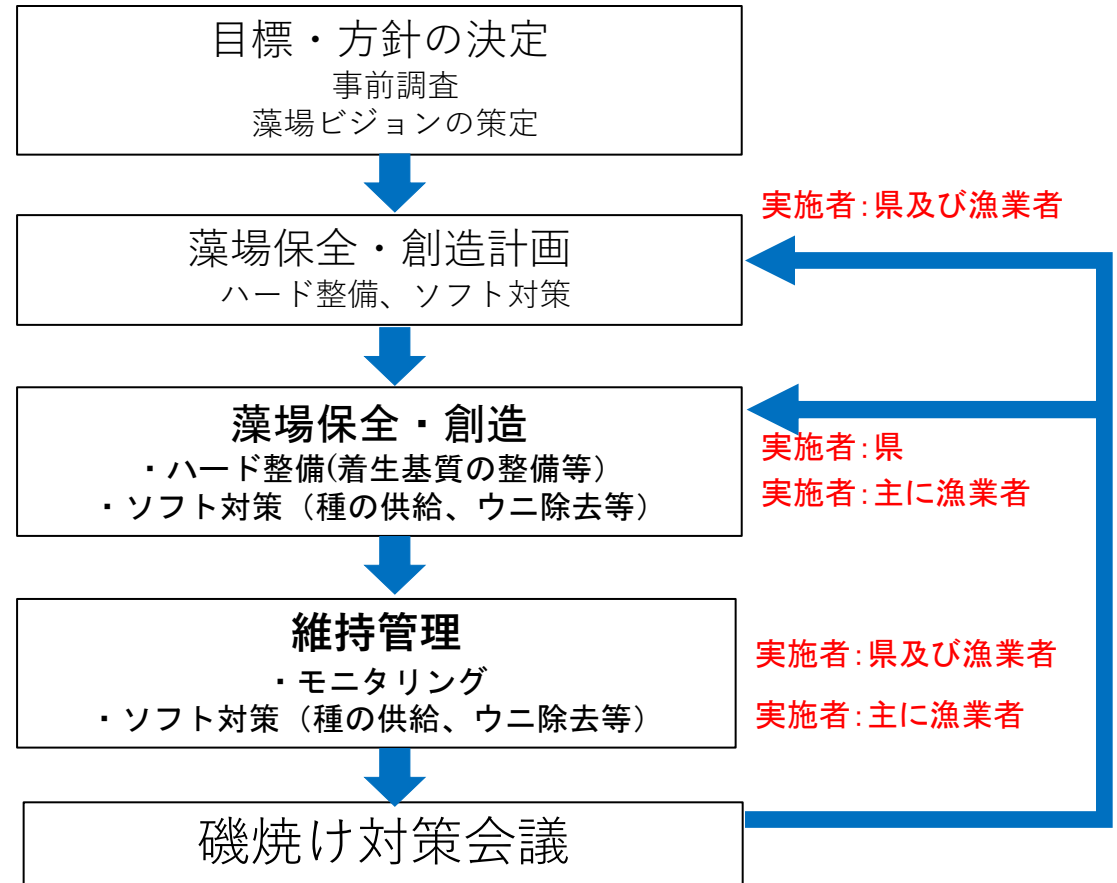
《施工イメージ》



施工箇所(案)

300m × 20m

維持管理フロー



【取組】

漁港を利活用した海藻バンクによるブルーカーボン生態系拡大プロジェクト

事業の目的・概要

ブルーカーボン推進のため、漁港を利活用して大量かつ安定的に海藻を育成し、従来の1/4の5kg程度の海藻移植用カートリッジと栄養塩を溶出し10～18N/mm²の強度を有する海藻育成用基盤ブロックを用いて周辺海域へ効率的に移植することにより、**広域な藻場の造成と回復を実現する海藻供給システム（海藻バンク）を構築**。

実施体制

※太字：幹事企業

三省水工株式会社、日建工学株式会社
株式会社アルファ水工コンサルタンツ **三洋テクノマリン株式会社**

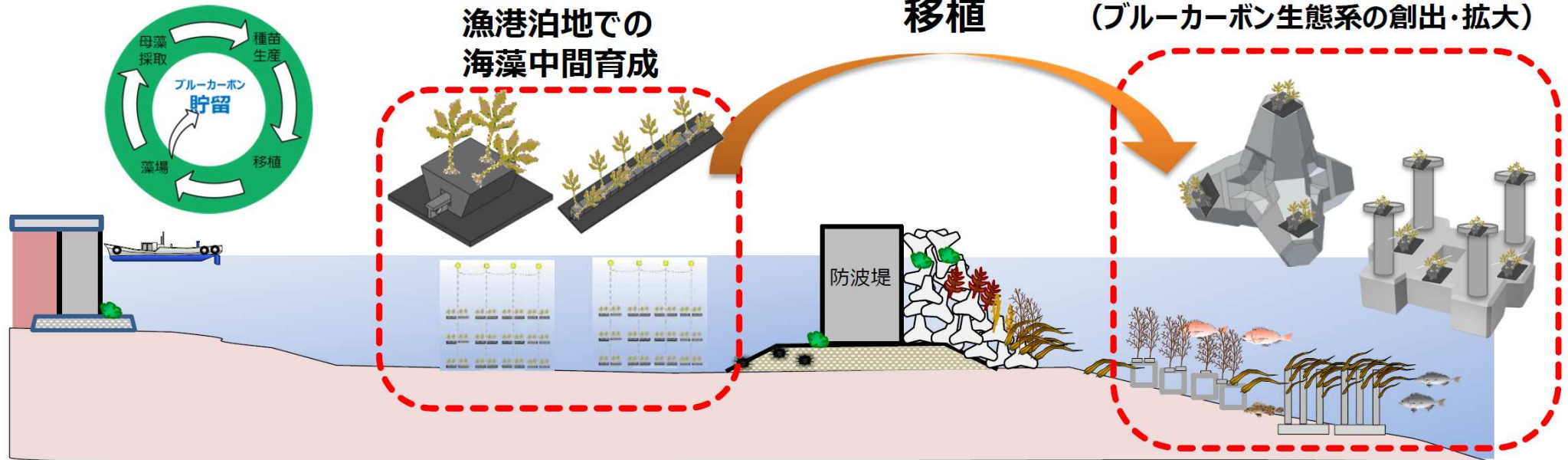
事業規模など

- 事業規模：約14.9億円
- 支援規模*：約13億円
- * インセンティブ額を含む。今後ステージゲートでの事業進捗などに応じて変更の可能性あり。
- 補助率など：9/10（委託） → 2/3 → 1/2（インセンティブ率は10%）

事業期間

2022年度～2030年度（9年間）

事業イメージ



出典：三省水工(株)、日建工学(株)、(株)アルファ水工コンサルタンツ、三洋テクノマリン(株)

【取組】

Jブルークレジット購入（大島干潟）

「大島干潟から、つながる 周南市ブルーカーボンプロジェクトin 徳山下松港」

Jブルークレジット®の認証発行

徳山下松港（大島干潟）での干潟保全活動により創出されたCO₂吸収量について、企業等からクレジット購入をいただきました。

クレジットで得られた資金は、大島干潟での保全活動や地域振興、水産振興に役立てられます。



令和4年度クレジット購入者 (アイウエオ順)

出光興産株式会社 様
株式会社エコー 様
基礎地盤コンサルタンツ中国支社 様
クボタ環境エンジニアリング株式会社 様
三洋テクノマリン株式会社 様
株式会社シーゲートコーポレーション 様
JFEエンジニアリング株式会社 様
公立大学法人周南公立大学 様
株式会社商船三井 様
中電技術コンサルタント株式会社 様
東亜建設工業株式会社 様
株式会社東京久栄 様
東ソー株式会社 様
株式会社トクヤマ 様
日本精蠟株式会社 様
日本ゼオン株式会社 様
一般財団法人山口県環境保全事業団 様

大島干潟での 保全活動・環境活動



クレジット申請者

山口県漁業協同組合 周南統括支店、大島干潟を育てる会、周南市

NIPPON STEEL | 日鉄神鋼建材株式会社

ブルーカーボン生態系で豊かな海づくり

日鉄神鋼建材は、カーボンニュートラル社会の実現を目指し、持続可能で豊かな海づくりに貢献する事業を全国展開しています。

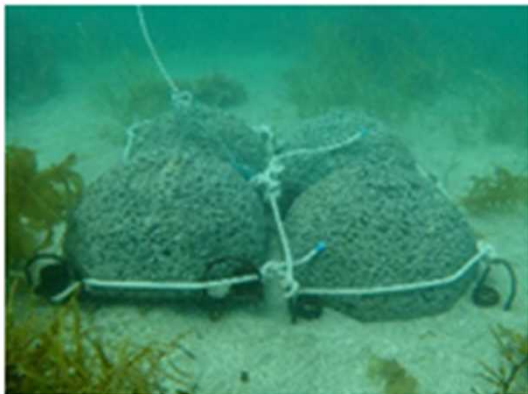
40年を超える海洋環境保全技術を活かし、お客様のニーズに応じた的確な商品提案、提供を心掛けています。

兵庫県・大阪府においては、日本海、瀬戸内海、大阪湾それぞれの海域で、小型藻場礁を活用した地域の藻場再生に地元漁業者皆さんや民間の方々とともに取り組んでいます。

今後も地元の声に真摯に耳を傾けながら、ブルーカーボン生態系による豊かな海づくりに寄与できるよう取組を進めてまいります。



設置 20年後



一年後

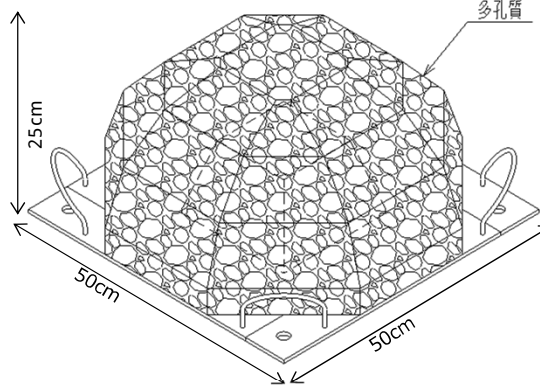


SKSリーフ多孔質藻場礁を活用した小規模藻場再生の取組

● 漁業者の方々による母藻の取付 設置作業



兵庫県豊岡市竹野



SKSリーフ TB-1型

- ・幅：50cm
- ・高さ：25cm
- ・重量：約60kg



兵庫県淡路市一宮



藻場再生技術の有効性確認

日鉄神鋼建材(株)



ヤツタタモク(奥) ヤフシシジモク

特産地産物を活用した藻場の再生技術の有効性を確認する日鉄神鋼建材(株)と兵庫県豊岡市竹野地区の漁業者が共同で実施した調査の結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、約60日後に約60cmの高さまで成長し、約60日後には約60cmの高さまで成長した。これは、従来の海藻の生育速度に比べて約2倍の速さで成長した。この結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、藻場再生に有効であることを確認した。

兵庫県豊岡市竹野地区の漁業者と日鉄神鋼建材(株)が共同で実施した調査の結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、約60日後に約60cmの高さまで成長し、約60日後には約60cmの高さまで成長した。これは、従来の海藻の生育速度に比べて約2倍の速さで成長した。この結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、藻場再生に有効であることを確認した。

兵庫県豊岡市竹野地区の漁業者と日鉄神鋼建材(株)が共同で実施した調査の結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、約60日後に約60cmの高さまで成長し、約60日後には約60cmの高さまで成長した。これは、従来の海藻の生育速度に比べて約2倍の速さで成長した。この結果、多孔質のSKSリーフ型に設置した母藻が、藻場再生に有効であることを確認した。

取組紹介記事

オールサム株式会社

地域を巻き込んだ栄養塩の供給で藻場の再生に貢献したい

● 現在の主な事業

- ・ 100均向け雑貨製造
- ・ ペット用品の製造
- ・ ホテル向けエコアメニティの販売
- ・ クリーンルーム向け作業用手袋の製造販売

● MOBA構想に向けて

コーヒー豆が入っていた麻袋をアップサイクルした製品作りにチャレンジしております。

天然素材を活かし、藻場再生用の資材として麻袋を縫製加工した商品を提供したいと考えております。



MOBAに関する現在の取組、関心を有する取組、要望等

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス参加登録申込時に調査票に記入いただいた内容等についてご紹介下さい。

● やりたいこと

麻袋の中に腐植を含んだ堆肥と牡蠣殻を入れ、砂浜に埋設することで海藻の成長を助ける栄養塩供給土のう(仮)を作り、地域の漁業関係者や住民が参画しやすい藻場再生の取り組みがしたいです。

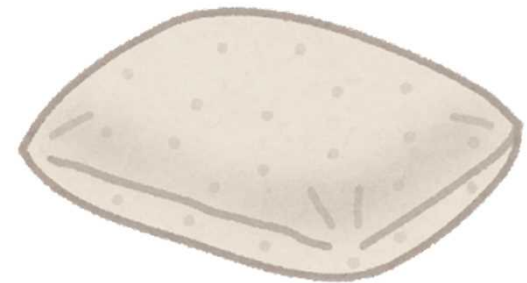
中に入れる堆肥の由来としては、地域で排出される食品廃棄物由来の堆肥を活用したいと考えております。農林水産省で実施されている、食品リサイクルループのような取り組みを参考に、地域の産業廃棄物をもとに栄養塩土のう(仮)を作り、地域の企業様や漁民の方と藻場再生に参加したく考えております。弊社では麻袋を土嚢袋に縫製し、提供することができます。



食品廃棄物等由来の堆肥



牡蠣殻等



海藻の生育に役立つ栄養塩供給土嚢



● ご協力お願いしたいこと

各参加企業様と情報交換させて頂き、大阪湾周辺の材料を使用した栄養塩土のうを作り、藻場再生に役立てたいです。

株式会社 シャトー海洋調査

<http://www.chateau-kaiyou.co.jp/>

生態系をみつめる、まもる、再生する技術がここにあります。

● シャトー海洋調査とは

測量や生態系調査、漁業調査などの海域環境調査を行う会社です。環境創造への貢献を目指し、独自の技術で様々なご要望にお応えします。

● 環境調査

干潟、浅海、さらに沖合域にかけて、水質・底質・生物調査を行います。計量魚群探知機による魚群の定量化、超音波発信機による魚類の行動追跡、炭素や窒素の安定同位体比を用いた食物網解析などを行います。

● 藻場関連調査

UAV (ドローン) や水中ドローンによる地形や藻場の計測、現存量調査の他、藻場造成 (回復)、食害対策、炭素量分析やブルーカーボン量算定を得意としています。



株式
会社

シャトー海洋調査

MOBAに関する取組

ブルーカーボン生態系に関する、再生・創出活動の実施、モニタリング等の関連技術の提供・実証

● ブルーカーボン生態系の再生・創出

○関西国際空港の藻場の保護のため、カジメの保護やカジメ、ホンダワラ類の母藻移植に貢献。

○30年以上の藻場再生・創出（藻場造成）の実績

例：種苗生産後の移植 兵庫県明石市、徳島県海部町（現海陽町）
現存藻場からの移植 和歌山県や日置川町（現白浜町）、
愛知県他



種苗育成中のホンダワラ類の幼体

● モニタリング等の関連技術の提供・実証

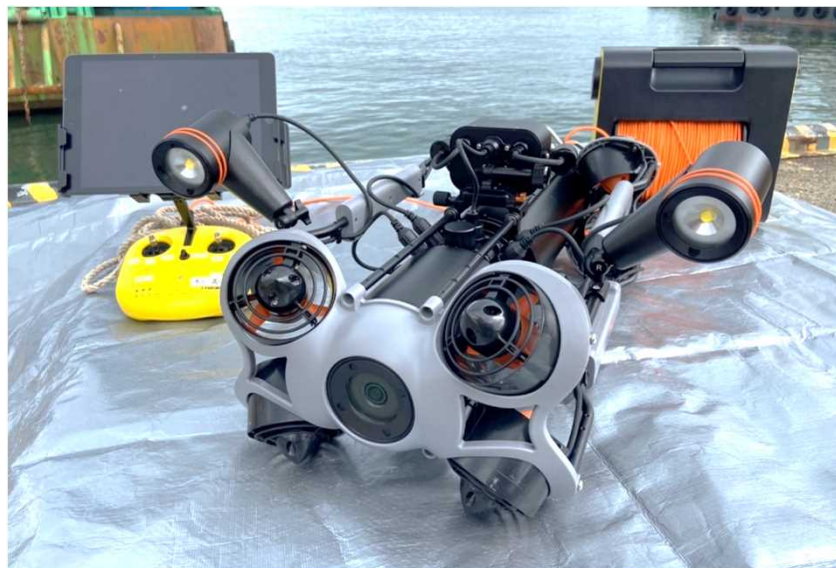
○藻場分布調査：航空写真（ドローンを含む）や衛星画像＋現地確認

○藻場現存量調査：水中ドローンや潜水目視観察調査等による調査、ブルーカーボンクレジット算出にも対応

○藻場生産量調査：固定コドラート法による成長速度や枯死流失量を調査

○藻場生態系調査：固定式カメラや採捕により、藻場を利用する動植物の関連を調査

ブルーカーボンに関する実績：関西国際空港、神戸空港、ウミノミクス他



水中ドローン（CHASING M2 PRO MAX）

トーカロ株式会社

本社：神戸市中央区港島南町

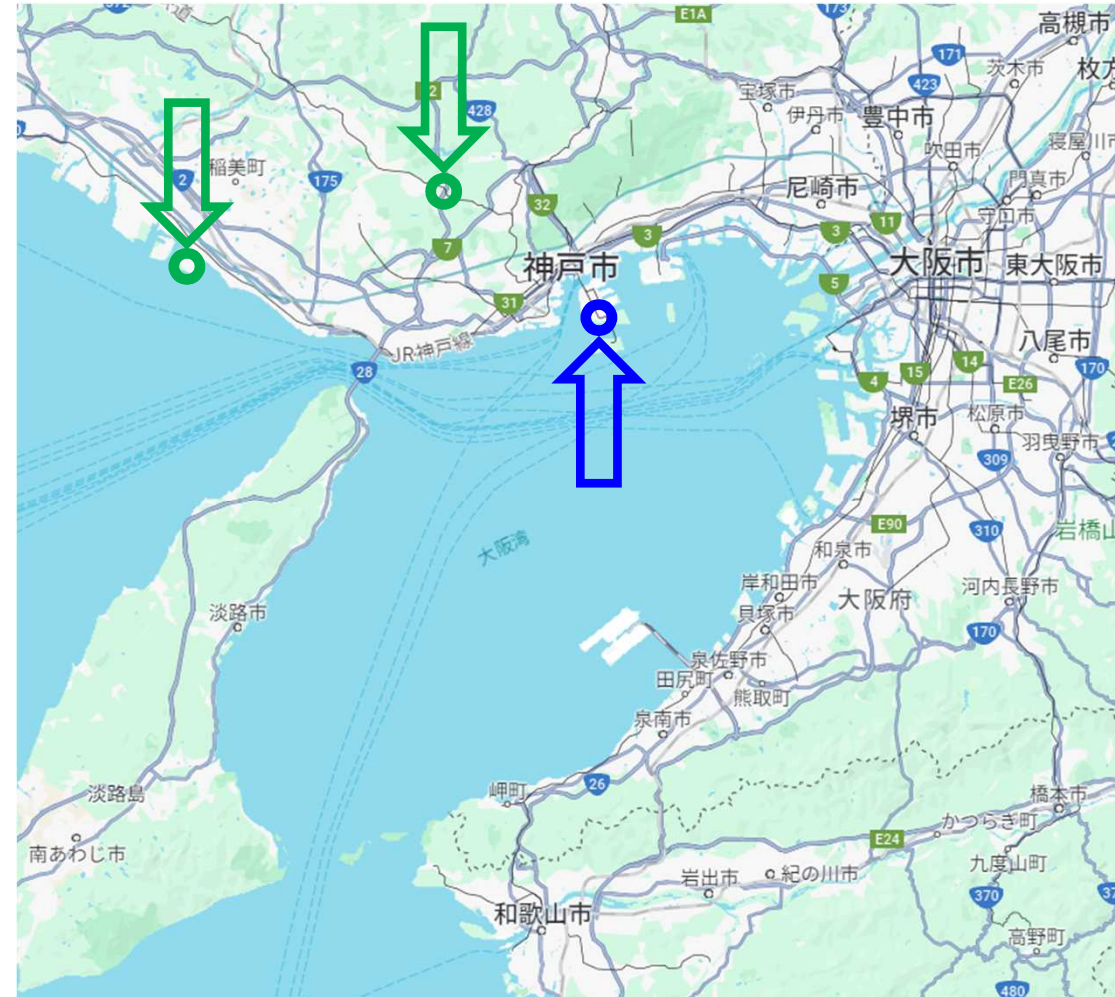
近隣地区に明石工場・明石播磨工場・技術研究所・神戸工場

- 表面を「カエル」会社です
使用環境に最適な表面に「カエル」
表面改質を地道に今年で74年となります。



- 全天候型をモットーに多様な実績
 - ◇ 半導体 ◇ フラットパネルディスプレイ
 - ◇ 製鉄 ◇ 非鉄金属 ◇ 樹脂・ゴム ◇ 製紙 ◇ ガラス
 - ◇ 発電 ◇ 自動車 ◇ 航空機 ◇ 鉄道車両 ◇ 船舶
 - ◇ 産業機器 ◇ 医療器 ◇ 繊維 ◇ 農業機械 ◇ 食品
- 国内他地域に6箇所・海外5か国に拠点

○北九州	○倉敷	○名古屋
○船橋（行田）	○船橋（鈴身）	○宮城
□ 中国2カ所	□ 台湾	□ アメリカ
□ タイ	□ インドネシア	



藻がよろこぶ表面に「カエル」？

- 材質は何がよい？ 表面はザラザラ？ ツルツル？ ボソボソ？ 色も影響？ 光は吸収？

工業界での実績は多数ありますが、今までまったく藻とは縁がありませんでした。
これから藻がよろこぶ表面をみつけていきたいと考えています。

溶射 施工

金属・合金・セラミックス
それらの複合材

熔融噴射

形成された皮膜

基材

金属全般
非金属材料
・プラスチック
・カーボン
・セラミック
・コンクリート
など

温めて柔らかくなったチーズを
ギザギザした壁面に投げて付着させるイメージ



現地 検証

空を飛ばすか？ 海面を泳がせるか？

重要なのはいつも同じ位置を検証することか？

(右写真のドローンは協力会社さん製作)



環境にやさしい海洋製品



日本リーフ株式会社

魚礁

高さ20m級！



ヒラマサ



メバル



イサキ

● カレラリアーフ600S型



● カレラリアーフ00S-II型



● 角型組立礁150-6型



● ネットフレームーフ.0mS型

増殖礁

豊かな海を瓦が創出



● カレラリアーフ.0m-II型



メバル



キジハタ



イセエビ



マナマコ

瓦ユニット



● カレラリアーフ.2m型



● カレラリアーフ.0m型



● 石詰柱状礁I-190型

藻礁

海藻群落「藻場」の復元を目指して



瓦のリサイクル材を有効活用！

● 全国の各地域への納入実績は
35,000枚以上！

海藻着生基質「セラポラ」
(セラミックスポンジ+スポンジ)

〔 兵庫県 大阪府 三重県 広島県
愛媛県 熊本県 大分県 佐賀県
長崎県 秋田県 静岡県 岩手県 〕



カジメ



カジメ



アカモク



● ネットフレームーフ.0m型
(セラポラ付)



● トリンブロックI-190型
(セラポラ付)



● AL-III型

藻場を増やす取り組み

● 既設護岸を有効活用した藻場造成

【施工場所：大阪府大阪市住之江区南港北（南港野鳥園 西側護岸）】

「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業



海藻着生基質「セラポラ」
(350*350*75)



潜水士でテトラポッドに設置



ワカメ種苗付きのセラポラ基質も設置



● 小型藻礁による藻場の保全

【施工場所：兵庫県淡路市育波地先】

水産多面的機能発揮対策事業



小型藻礁「セラポラキューブ」
(500*500*300)



ワカメ種苗付きセラポラキューブを
漁業者の方と協力して設置



団体・企業等概要

関西エアポート株式会社

関西エアポートグループは関西エアポート株式会社を含む8社で構成されています。

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社とVINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。



MOBAに関する現在の取組

地域との環境調和を目指した藻場造成と地域との連携

● 関西国際空港をフィールドとした藻場造成

護岸の総延長24kmのうち約9割に「緩傾斜石積護岸」を採用しています。

1期空港島において種苗移植を開始した直後の1989年4月から海藻分布状況の調査を開始し、現在までの30年以上にわたってモニタリング調査を継続しています。

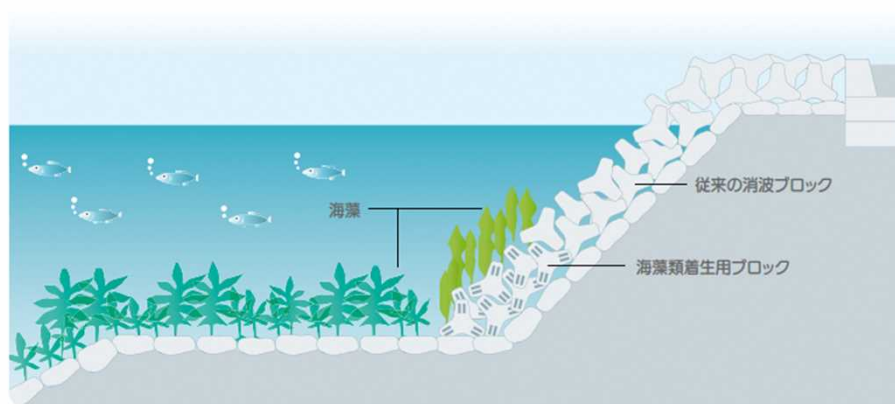
2022年3月の調査において、空港島全体の海藻着生総面積（藻場面積）が54haであることを確認しており、これは大阪湾の藻場面積の約2割に相当します。

また、2022年12月にはブルークレジットとして過去5年分（FY2017 FY2021）で103.2t-CO₂が認証されました。

● 地域とともに取り組む大阪湾の環境保全の取組

2023年には地域と連携した大阪湾の環境保全の取り組みとして阪南市と共同で「大阪湾海の森（藻場）保全・再生プロジェクト」を立ち上げ共創チャレンジに登録しました。

空港から地域への海藻移植や次世代への教育活動で連携しています。



緩傾斜石積護岸



ガラモ場に集まるメバルの幼稚魚



レンゴー株式会社

パッケージングで、暮らしを支え、未来をつくる



製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装

あらゆる産業の全ての包装ニーズに総合的なソリューションでお応えします

MOBAに関する現在の取組み、関心を有する取組み、要望等

木材由来のセルロース製品を用いた、海ごみにならない水産資材の開発&藻場再生

木材由来のセルロース製品ラインアップ



*海洋生分解性認証取得





青木あすなろ建設

TakaMatsu Group

スイブル（水陸両用ブルドーザ）の紹介



- 水深7mまでの浅水域で活躍
- 無線遠隔操縦式
- これまで約1200件の施工実績

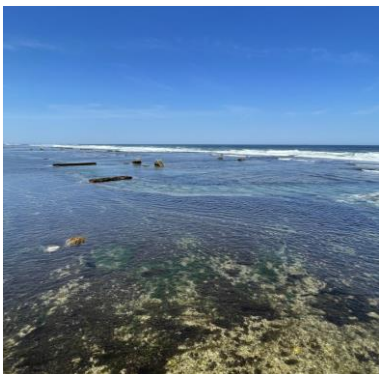


絵本にも
なりました！

作：こもりまこと さん

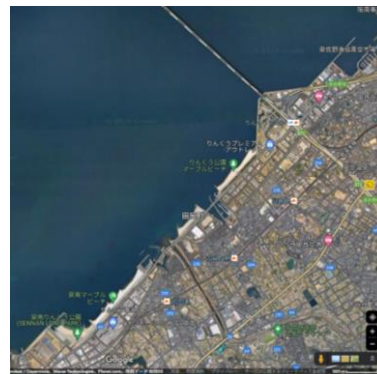
スイブル 施工実績

1. 藻場・干潟整備 岩手県洋野町 等



近年は河道掘削工事が多いですが、藻場の維持・造成工事もあります。岩手県洋野町にて、昭和40～50年代にウニの増殖溝を造成した工事のできた藻場が、2022年11月に「ブルークレジット（3,106.5t-CO₂）」として認定されています（なお、当社はこの申請には関与していません）。

2. 1987(S62)～1993(H5) 南大阪湾岸護岸工事



大阪湾では、南大阪でマールビーチの造成工事の実績があります。当社が保有するスイブル等を用いた藻場・干潟の造成工事の実施を通して、大阪湾ブルーカーボン生態系の創出に貢献したいと考えています。

2025大阪・関西万博 出展



現在、自動制御とICTの機能により
熟練技術がなくとも操作可能な
電動式の水中施工ロボットの実証に
コマツと共同して取り組んでいます。
2025大阪・関西万博の未来社会
ショーケース事業「フューチャー
ライフ万博・未来の都市」に
「ミライの水中工事」としてコマツ
と共同出展します。気候変動・地球
温暖化への対応として、藻場・干潟
造成によるブルーカーボン生態系の
創出への貢献を考えています。



青木あすなる建設

TakaMatsu Group

未来は、
水の中に
ひろがる。

大阪・関西万博開催まであと
355日
08時間 05分 02秒

EXPO
2025

・ Top
水中探検ツアー
EXPO2025
コンセプト
SDGs・Society5.0
水中施工ロボットの活躍

Presented by

青木あすなる建設
TakaMatsu Group

KOMATSU

© Future underwater construction. All Rights Reserved. Presented by Komatsu Ltd. and Asunaro Aoki Construction Co.,Ltd.

<https://expo2025.underwater-construction.com>

コマツ合同制作
「ミライの水中工事」
スペシャルサイト





日本興業株式会社

美しく豊かな環境づくりに貢献します

● 創業68年 東証スタンダード上場

本社：香川県さぬき市

拠点：3支店（16事業所）、8工場

資本金：20億1,980万円

● コンクリート製品を通じた環境づくり

土木事業・景観事業・エクステリア事業により「環境との共生」「景観との調和」「安心安全」をキーワードに循環型社会の実現に向け挑戦を続けます。

● サステナビリティの推進

カーボンニュートラル・ウェルビーイング・リスクマネジメントを通じて持続可能な社会の実現に向けて取組みを進めています。



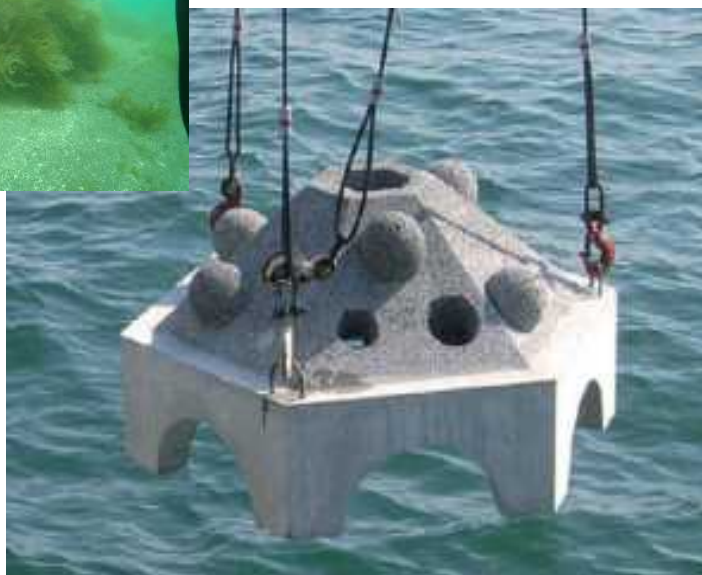
魚礁・藻場礁の開発を通じて地球環境に貢献しています

● 魚礁・藻場礁の開発

魚礁（シーマークリーフ）、藻場礁（マリンマッシュ、モバロック）の開発を香川大学末永教授と行い、流れによる渦が藻を形成する絶妙な形状を生み出しました。

● 大阪湾に71基沈設

2014～2020年には大阪湾漁場環境整備工事として計71基沈設しています。瀬戸内海には2001年から現在まで計1,000基以上沈設しています。



藻場礁「マリンマッシュ」



魚礁「シーマークリーフ」



ENEOS株式会社

堺製油所



操業開始：1965年（昭和40年）

従業員数：約400人

主要設備：常圧蒸留 141KBD

流動接触分解 46KBD

石油化学（パラキシレン, プロピレン, オクテン, TBA）



特徴

- 日本で最高レベルのエネルギー効率を持つ精製装置
- 関西需要圏を控え充実したタンクトラック出荷設備
- 近隣コンビナート企業との半製品・用役融通による高効率生産



藻場創出の取り組み

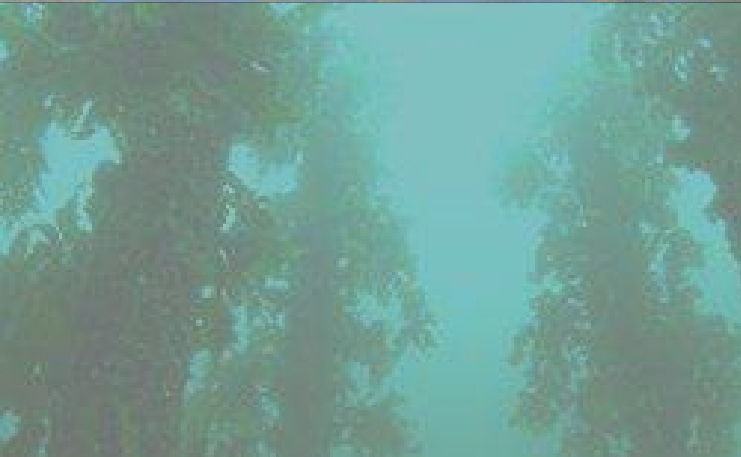
- 2022年12月：令和の里海づくりモデル事業に伴い藻場基質及びワカメ種系設置
- 2023年1月、2月：モニタリング実施（ワカメ着生は確認できず）
- 2023年2月：広報誌フェニックス（堺市全域に配布）に藻場基質設置状況掲載
- 2024年2月：ワカメ等種系ユニット設置（ワカメ・コンブ・ヒロメ）
- 2024年4月：モニタリング実施（ワカメ・コンブの着生を確認）
- 2025年5月：広報誌フェニックスに着生状況掲載予定



安全・安心の提供を通じて社会に貢献する



ご紹介 - 海洋事業部の取組み -



● ゆたかな海づくりのお手伝い

水産資源の回復に期待できる人工魚礁・藻場礁の普及や洋上風力発電事業の漁業共生など海洋開発と水産業の共存を目指す製品・工法と、海藻大量生産技術を通じて、「地球のカーボンニュートラル」への貢献に取り組んでいます。



CM等で活躍中のオカベアー

● 漁場・増殖場・藻場の環境整備

漁獲量や資源量の減少、藻場・干潟の大幅な減少、海水温の上昇など、日本の漁業を取り巻く状況はますます厳しくなりつつあります。なかでも、「海のゆりかご」と呼ばれ水産生物を育む藻場は、日本全国で著しく衰退または消失している現象（磯焼け）があります。

海洋事業部では長年にわたり蓄積された海藻育成技術と人工魚礁技術によってこれら諸問題に果敢に取り組み、水産資源の回復・保護、効率的な漁業の推進など、持続可能な海洋開発を目指しています。

漁場・増殖場の環境整備例



漁業協調型海洋開発事例

増殖礁を棲家にするナマコ

藻場の環境整備例



根固めブロックへ海藻種苗と基質の取付

生長したアラメ種苗とサザエ



鋼製魚礁に集まった魚

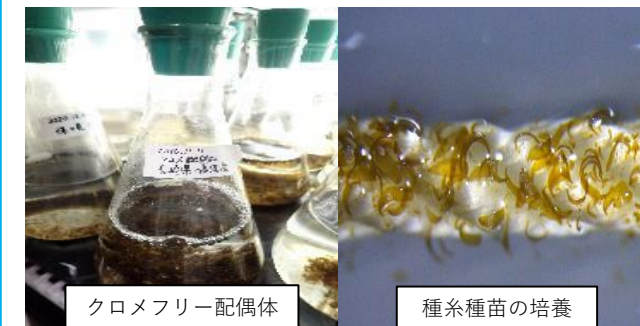


藻場礁に繁茂する海藻

● 応用藻類学研究所

応用藻類学研究所（島根県隠岐郡海士町）では、藻類のうち「海藻」を中心とした水産生物に関する基礎的知見を社会に展開するための応用研究を行い、次代を担う商品開発に取り組んでいます。

応用藻類学研究所の取組例



クロメフリー配偶体

種糸種苗の培養



大型褐藻類(ワカメ、アラメ等)のロープ種苗

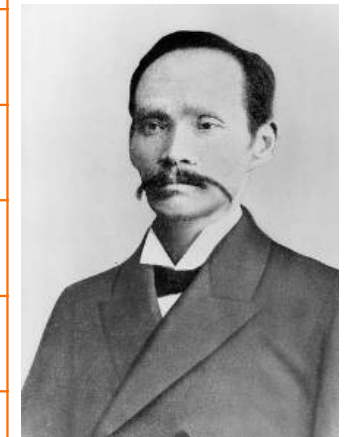
OKI 会社概要

<https://www.oki.com/jp/>

日本初の電話機製造に挑んだ創業以来140年にわたり、企業理念の「進取の精神」をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供。“モノづくり・コトづくり”を通じて、より安全で便利な社会のインフラを支える企業グループを目指します。

会社概要（2024年4月1日 現在）

商号	沖電気工業株式会社（Oki Electric Industry Co., Ltd.）
創業	1881年（明治14年）
創業者	沖 牙太郎
設立	1949年11月1日（昭和24年）
資本金	44,000百万円
取締役会長	鎌上 信也
代表取締役社長執行役員 兼 最高経営責任者	森 孝廣
従業員数	単独：4,710名 連結：14,487 名（国内：11,678人、海外：2,809人） ※2023年12月31日 現在
子会社	46社（海外19社）
本社所在地	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号



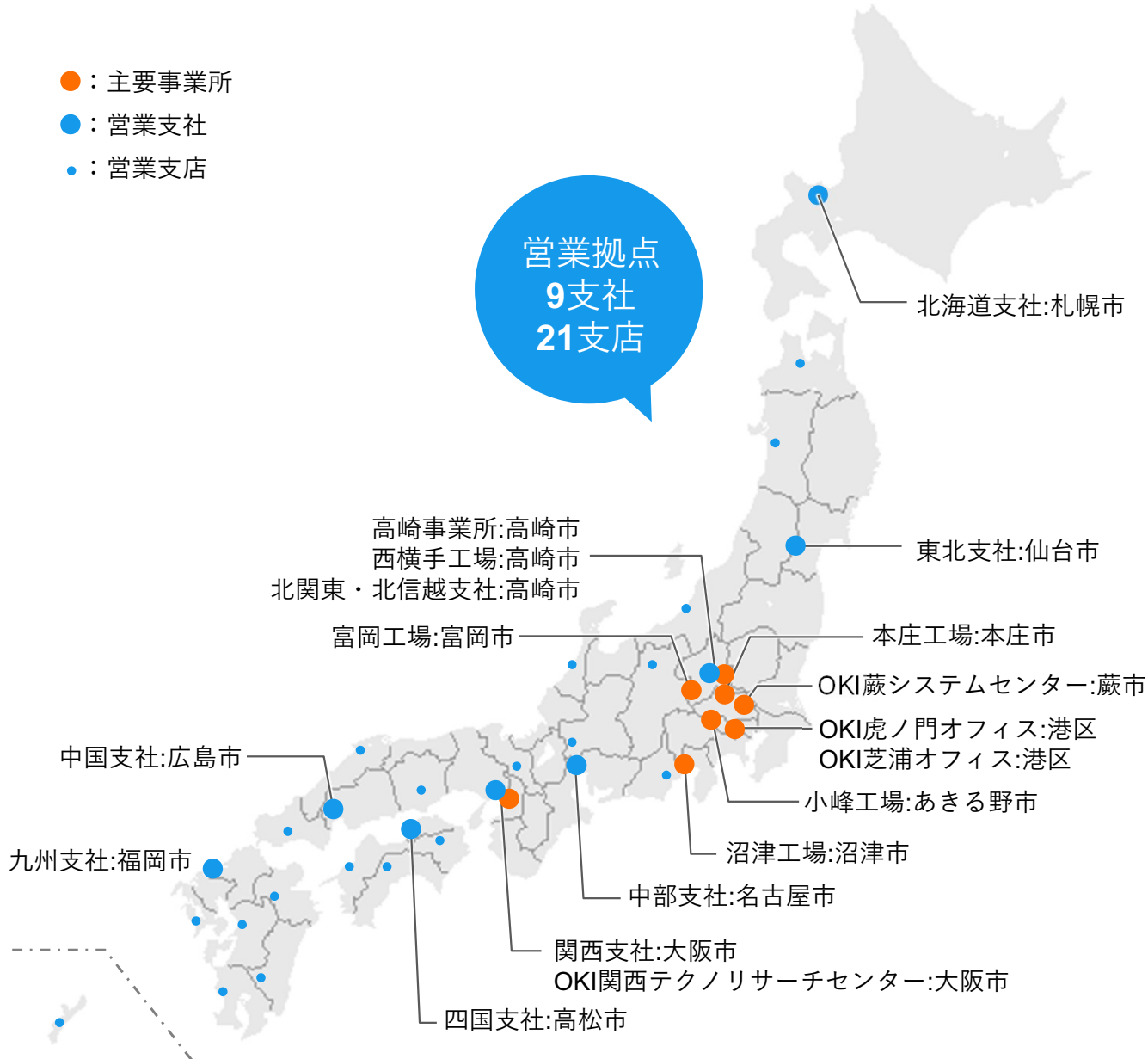
創業者：沖牙太郎

創業以来培ってきた、ネットワーク・光・電波など各技術を基に、センサーデータ分析などの強みを活かし、特長ある技術をベースに、お客様や各業界で強みを持つパートナーとの「共創」、オープンイノベーションの活用による新たな業務ノウハウや技術を取り込み、積極的に事業を展開



国内主要事業所・営業拠点

- : 主要事業所
- : 営業支社
- : 営業支店



国内主要子会社

- OKIアイディエス
- アダチ・プロテクノ
- OKIアドテックサポート
- OKIアレステック
- OKIエンジニアリング
- OKIクロステック
- OKIコムエコーズ
- OKIコムテック
- OKIコンサルティングソリューションズ
- OKIサーキットテクノロジー
- OKIジェイアイピー
- OKIシンフォテック
- OKIソフトウェア
- OKIソフトウェアエキスパートサービス
- OKIデータMES
- OKI電線
- OKI東邦電子
- OKI富岡マニュファクチャリング
- OKIトラステック
- 日本ビジネスオペレーションズ
- OKIネクステック
- OKIハイテック
- バンキングチャンネルソリューションズ
- OKIプロサーブ
- OKIマイクロ技研
- モガミ電線
- OKIワークウェル

株式会社イノカ

人工環境でのシミュレーションを可能にする「環境移送技術」



- 2019年設立の海洋系ベンチャー企業

イノカは「自分たちが好きな自然をみつづける」をフィロソフィーに掲げ、国内有数のサンゴ飼育技術を持つアクアリスト（水棲生物の飼育者）と、東京大学でAI研究を行っていたエンジニアがタッグを組み、2019年に創業したベンチャー企業です。



- 環境移送技術

自然を愛し、好奇心に基づいて飼育研究を行う人々の力と、IoT・AI技術を組み合わせることで、任意の生態系を水槽内に再現する『環境移送技術®』の研究開発を推進しています。

- 世界初のサンゴ産卵実験に成功

2022年2月には、人工海水を使った完全閉鎖系の実験系にて、産卵時期をコントロールした造礁サンゴの産卵実験に世界で初めて成功しました。



MOBAに関する現在の取組、関心を有する取組、要望等

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス参加登録申込時に調査票に記入いただいた内容等についてご紹介下さい。

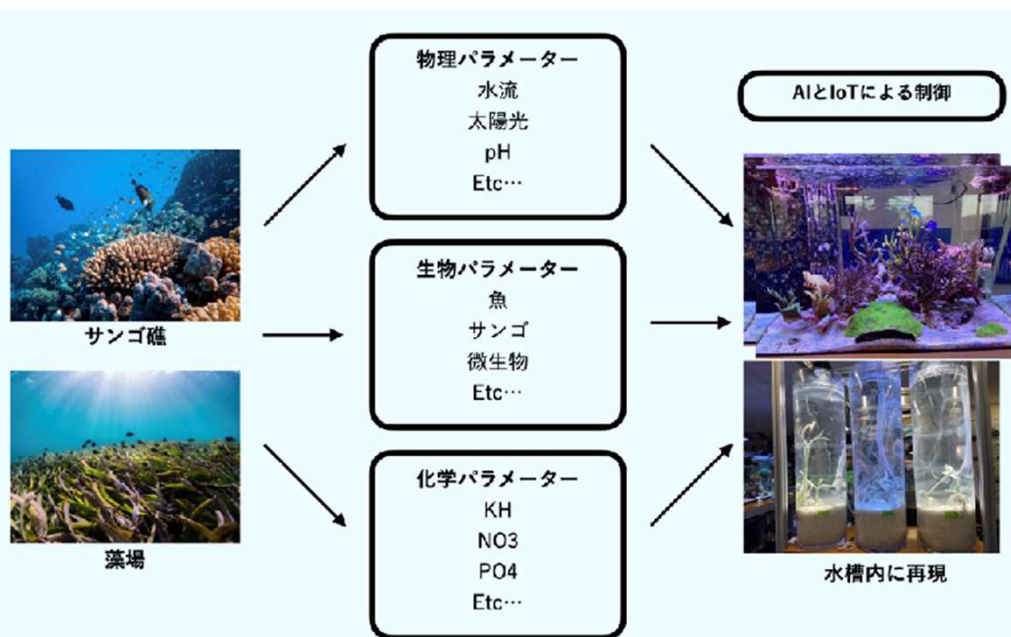
● データ・エビデンスに基づく藻場造成の提言

藻場の造成においては、根本的な原因の特定や、データに基づいた科学的な分析が全国的に不足していると捉えています。

環境移送技術では、

- ・生育条件を特定して植え付け場所の最適化について知見を得る
- ・保全方法について有効性や安全性を事前に検証することで実装の確度とスピードを早める

など、多様なプレイヤーの皆様との共創が可能と考えております。



独自技術「環境移送技術」を活用します。
→自然を構成する要素を分解し、水槽内に再現。



● 各地で藻場保全プロジェクトを展開中

石垣島でのウミシヨウブ保全プロジェクトなど、藻場造成に関するプロジェクトの展開を2023年から開始しております。

企業・アカデミア・環境省・機関投資家等の連携体制を作りながら、エリアごとの藻場造成課題の解決を目指しています。

環境移送ベンチャー イノカならびに東京海上グループ、脱炭素対応や生物多様性保全で要となる藻場の再生と拡大に向けた共同研究を開始

第一弾として、沖縄県石垣島のウミシヨウブの藻場の再生を目指した研究をスタート。生物多様性の回復と脱炭素の実現で、ブルーカーボンや生物多様性クレジット取得も目指す

株式会社イノカ 2023年10月18日 10時00分



株式会社イノカ（東京都文京区、代表者：高倉葉太、以下イノカ）、東京海上アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長横田 靖博、以下TMAM）、東京海上ティーアール株式会社（代表取締役社長、堤 伸浩、以下TdR）は、生物多様性の保全や二酸化炭素の吸収で脱炭素を推進する藻場の再生にむけた共同研究を開始します。

第一弾として、沖縄県石垣市野底（のそこ）エリアにおいて、従来から自然保全活動を推進しているエコツアーふくみみ（代表者大堀健司）ならびに石垣市立野底小学校（校長仲皿 利治）と協力し、石垣市野底エリアにおけるウミシヨウブの藻場の再生と研究を進めてまいります。



団体・企業等概要

東亜建設工業 大阪支店

コーポレートメッセージ

私たちの今が、社会の未来を創る
Create Value. Build the Future



社会情勢の変化に対応する「しなやかさ」、激しい時代の潮流を掴む「俊敏さ」、志を持って自身の成長を求める「自分らしさ」、地に足をつけて着実に前進する「一步先へ」、これらは私たちが実践する行動スローガンです。

私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切にし、これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみなさまとともに未来の社会に貢献し続けることを約束します。



MOBAに関する現在の取組、関心を有する取組、要望等

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス参加登録申込時に調査票に記入いただいた内容等についてご紹介下さい。

- 直立の護岸等の港湾構造物に海藻を着生させる取り組み。

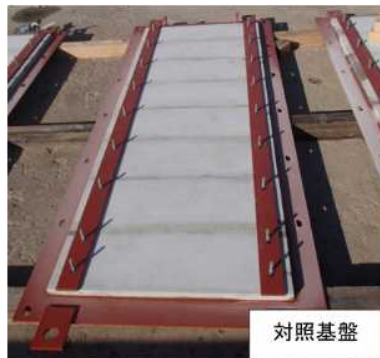


写真1 着生基盤

- 港湾工事で発生する材料を活用した生物共生干潟の創出。

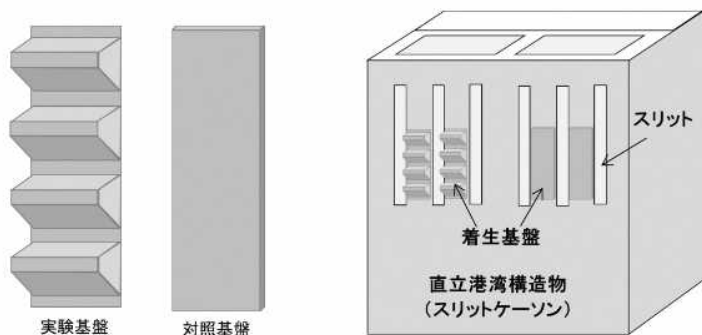


図1 着生基盤及び直立港湾構造物（スリットケーソン）におけるその設置位置

当社の考案した海藻の着生及び生育を促す角部を有する突起形状の着生基盤を直立港湾構造物に設置し、設置約1年後に海藻であるアオサ属等の緑藻類の着生が認められました。



兵庫運河の浅場整備 (あつまれ生き物の浜)

浅場整備は、当社が施工した国土交通省近畿地方整備局発注の神戸港第五防波堤撤去工事において発生した石や砂を活用し整備しました。

株式会社メディアクト

創業50年、DTP & WEBなど幅広いツールを提案できる大阪市西区のデザイン制作会社です。

広告制作のプロフェッショナル集団

50年の実績と経験により、様々な広告制作物との連携・提案が可能な動画制作企業です。

VR技術、水中ドローン技術などを積極的に活用し、撮影・制作した素材を様々なメディアに柔軟に展開することができます。

専門のWEB解析士が効果測定とWEB解析を行い、レポート作成と最適な戦略の構築を支援します。



ドローン撮影



水中ドローン撮影



360°VR動画



パンフレット
カタログ・冊子



動画撮影・編集



ホームページ



展示会ブース

MOBAに関するメディアクトの取り組み

360° VRと水中ドローンを使って様々な事業に取り組んでいます。

関西エアポートグループ様

藻場環境創造の取り組み紹介動画

関西エアポート株式会社様が運営する関西国際空港は、環境にやさしい空港づくりを目指し、大阪湾における海域生物の生息環境創出に貢献するため、空港島周辺の豊かな藻場環境の創造に向けて積極的に取り組んでいます。

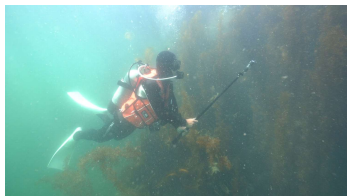
その取り組みを紹介するためのイベント用動画を、通常動画と360°VR動画に分けて2種類制作しました。



藻場の種類や生育状態の調査を紹介



ダイバーと水中360°VRによる撮影



岸和田港振興協会様

岸和田の海のいきものを学ぶ動画

大阪湾は古くから好漁場で、なかでも岸和田市は大阪府内でトップの漁獲量を誇ります。大阪が「なにわ」と呼ばれるのも、「魚庭（魚の豊かな庭）」が由来という説もあるほど、大阪湾は瀬戸内海でも有数の好漁場です。

本案件は子どもたちにも分かりやすいように、「なにわ」に住むいきものたちを環境保全の取り組みと合わせて制作しました。



大阪湾では非常に珍しいウミウシも見つかりました



環境保全の取り組みや課題も映像内で紹介



一般社団法人大阪湾再生研究・国際人材育成 コンソーシアム・コア (cifer・コア)

● 阪南2区北側海浜緑地の将来像

CIFER・コアは右図に示すような将来像を提案しています。

● アマモの育成実験

底質が泥質である阪南6区や阪南2区の内水面において、海砂と播種シートを入れたコンテナをイカダから垂下し、水中に浮かせた状態で発芽、成長させる実験に取り組んできました。

コンテナ内では右図のようにアマモが成長し、令和5年1月に東洋建設株式会社およびCIFER・コアが共同で特許を取得しました。

現在、コンテナ等を海底に移し、海底でもアマモが発芽・成長するか実験を継続しています。

● 阪南2区東側緩傾斜護岸の藻場調査

東側緩傾斜護岸の一部において令和5年度に藻場の状況を撮影した結果は右図のとおりです。今後、護岸全体について調査を行い、海藻の賦存量を把握できればと考えています。

また、深日漁港の増殖機能付護岸においても、令和4年度に藻場の広がりについて水中ドローンにより撮影を行いました。



浮体式コンテナで養成したアマモ



団体・企業等概要

兵庫県漁業協同組合連合会

令和6年5月8日
大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA)
スタートアップミーティング資料

水産多面的機能発揮対策事業の地域協議会「兵庫県豊かな海創生支援協議会」の事務局を担っています。
兵庫県瀬戸内海側では、海域の貧栄養化により生物生産性や多様性が失われ、適正な栄養塩類の供給が喫緊の課題です。

兵庫県では、豊かな海を目的として、兵庫県栄養塩類管理計画を令和4年10月に策定し、工場・下水処理場からの栄養塩類増加を実施、推進されています。本協議会としても、下の活動を推進しています。

- ① 藻場の保全を目的とした「栄養塩類の供給」に関する取組。
- ② 干潟等の保全を目的とした「特認活動（海底への施肥）」と「特認活動（深場の耕うん）」に関する取組。

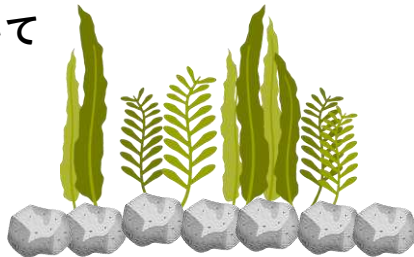
① 藻場の保全

「栄養塩類の供給」

+ 「母藻の設置」 「海藻の種苗投入」



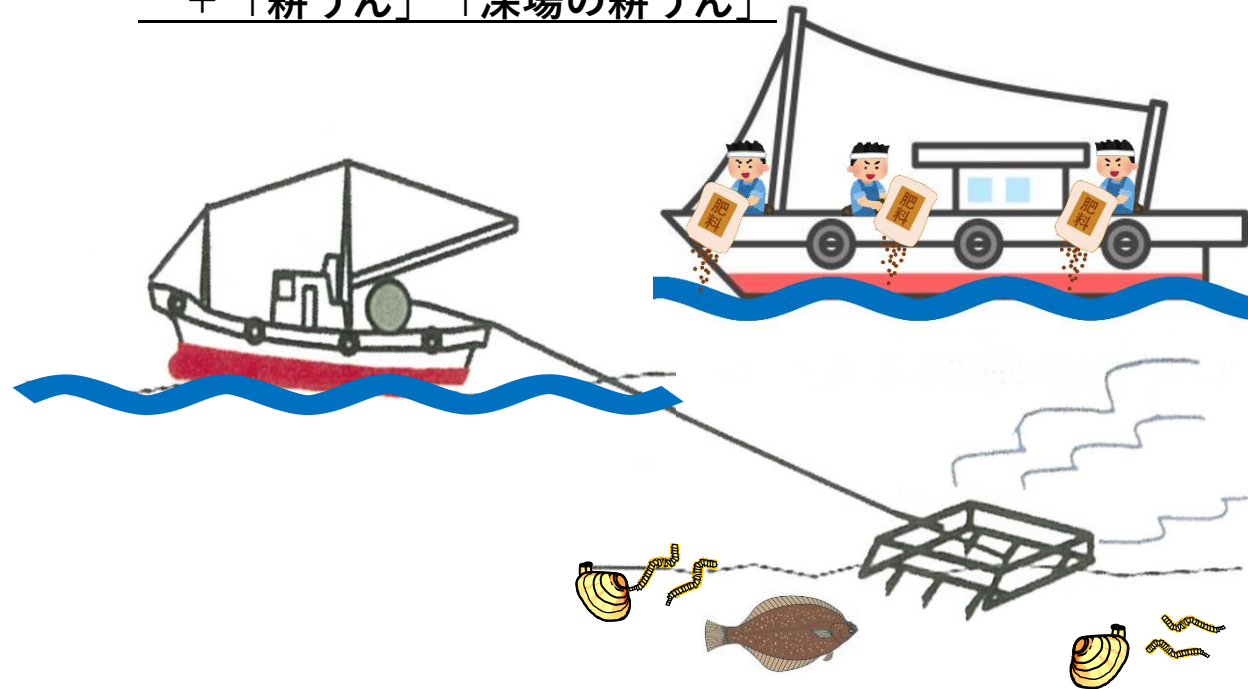
※令和6年度事業において
大阪湾側では、
兵庫地区、岩屋地区、
森地区で実施予定。



② 干潟等の保全

「海底への施肥」

+ 「耕うん」 「深場の耕うん」



<参考>

淡路市「森地区豊かな海づくり活動組織」
令和5年度藻場の保全に係る取組み

<海藻の種苗投入>

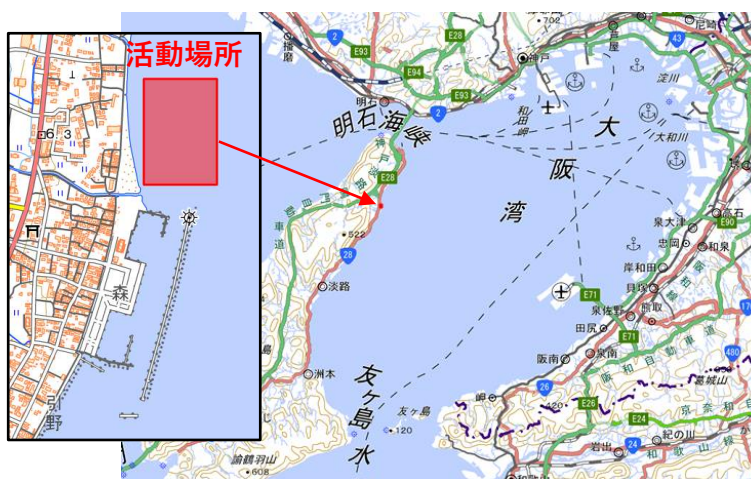
12月：ワカメの種糸を付けた小型藻場礁
(日本リーフ(株)製「セホ°キューブ」)
10基の設置

<栄養塩類の供給>

1月～2月：肥料を漁船から区域全体に投入
粒状発酵鶏糞肥料(北坂養鶏場製「島の土」)
45 t (15kg袋×600袋/日×5日)

<モニタリング>

水中ドローン等により区域全体の藻場の把握



粒状発酵鶏糞肥料「島の土」
N 2.2%, P 6.7%, K 2.0%



栄養塩類の供給 (1～2月)



団体・企業等概要

貝殻利用研究会

貝殻が海を救う！！

貝殻の活用による海域環境の再生・保全

● 貝殻を有効活用した環境改善

貝殻の有効利用を通じて、「水環境の改善」や「生態系及び生物多様性の保全・回復」、「水産資源の維持・増大」の実現を目指しています。

● 各会員と協力・連携した技術開発

各会員が技術・情報を持ち寄り、協力・連携・研究を通じて、貝殻の特性を活かした技術を開発しています。

● 会員

【JF会員】JFいしかわ、JF三重漁連、JF大阪漁連、JF兵庫漁連、JF岡山漁連、JF広島漁連、JF香川漁連、JFえひめ、JF長崎漁連、JFおおいた、JF宮崎漁連

【企業会員】天野産業(株)、(株)大本組、海洋建設(株)、(株)KANSOテクノス、三甲(株)、(株)長大

【事務局】JF全漁連購買事業部資材課



▲ 紹介動画



集積した貝殻



貝殻構造物の設置



海藻類の植生調査



母藻の取り付け

MOBAに関する現在の取組、関心を有する取組、要望等

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス参加登録申込時に調査票に記入いただいた内容等についてご紹介下さい。

● 貝殻利用技術による里海づくり

・大阪湾や瀬戸内海で海藻類などの着生基盤として機能する貝殻魚礁等を設置し、漁業者らとともに藻場や生き物のモニタリングを行っています。

・豊かな大阪湾環境改善モデル事業において、貝殻技術を活用した生物生息空間の創出事業を実施しました。

・貝殻を利用した環境改善活動を広く普及するため、各種イベントの出展や環境学習会の一環として、貝殻の中に生息する生き物の観察会や貝殻お絵かき体験等を実施しています。



貝殻魚礁に着生する海藻類



出展の様子
(大阪 魚庭の海づくり大会)

● 豊かな海づくりを目指して



参考文献

- ・田中丈裕：漁業系廃棄物“貝殻”の有効性とその有効利用，アクアネット,pp.28-33.2019.
- ・杉野伸義：漁場環境の修復修繕技術について水産工学,Vol.47,No.3, pp.211-218,2011.
- ・海洋建設(株)・JF全漁連・(株)大本組：貝殻による生物生息環境改善技術,平成24年度環境技術実証事業 閉鎖性海域における水環境改善技術 実証試験結果報告書 平成25年3月,2013.

団体・企業等概要

一般社団法人 須磨里海の会の藻場再生への取り組み



● 里海活動、舞台は須磨海岸

里海活動とは、海の生息する生物を豊かにする再生と保全の取り組みを通じて、市民の海への関心を高め、海に誘い、その恵みを次代に継承すること

● 具体的な活動

観光リクリエーションと漁業が営まれる地の利を活用し、アサリや藻場の再生活動および海に関するさまざまな社会教育活動を行っています。

● 様々な主体との連携

各地のさまざまな主体と連携し、大阪湾全域に影響する、核藻場をつくるのが目標です。そのためにも、「神戸の海を里海に」Suma豊かな海プロジェクトを通じて取り組みを充実させ、より多くの方の力を集められるよう、海の大切さを発信しています。

神戸の須磨海岸を

里海に

団体名：すまうら水産有限責任事業組合、須磨里海の会、兵庫県、神戸市

スマ
Suma豊かな海プロジェクト

兵庫県神戸市に位置する須磨海岸は、阪神間で最も多くの方が訪れる海水浴場として有名ですが、その中には藻場が広がり、港湾区域でもあります。多面的に利用されている海で、本来の生物多様性や生産性を保つ『豊かな海』を目指し、保全や啓発活動を通じて、より多くの方に海の豊かさを享受いただけるよう活動しています。

地域&官民連携



兵庫県や神戸市が人工海浜や漁場など太陽光の届く浅場を整備し藻場が形成されやすい基質となっています。そこで、すまうら水産が海苔やワカメなどの海藻類の養殖や海環境保全に取り組み、須磨里海の会とアマモの植栽などの藻場づくり等を行っており、地域の協力を得て官民が連携した活動をしています。

藻場のダイバーシティ



人工遠浅海岸ではアマモ場、その潜堤では主にアカモクが繁茂するガラモ場、沖の消波ブロックにはワカメ場、築磯の漁場にはカジメ場といった多様な藻場が形成されています。今後より一層これらの藻場を保全および拡大することにより、多様性に富んだ生態系の形成(ダイバーシティ)を目指して活動しています。

持続可能な仕掛け



『Suma豊かな海プロジェクト』の一環で、海岸清掃・里海教室・地引網体験・環境調査などの参加型イベントを実施し、海に関わる様々な取り組みを行うとともに、楽しく持続可能なプロジェクトを目指して、海への関心をもち活動に参加する人を増やす取り組みも行っています。

リーフボールJAPAN® 一般社団法人マリンハビタット壱岐



- 当法人のきっかけは、「ふるさとの海を再生したい」



米国 リーフボール



×



日米HB型リーフボール



アルカリ成分の溶出を抑制したコンクリート基台
(PH8.0~8.3と海水と中和状態)



【目的】藻場を再生し沿岸海域を豊かにすること。

森の栄養・・・フルボ酸鉄（二価鉄）

藻類生育の必須栄養塩（20種類）

リーフボールJAPAN®の独自技術を使用し藻礁に改良

技術は日米の

ハイブリッド

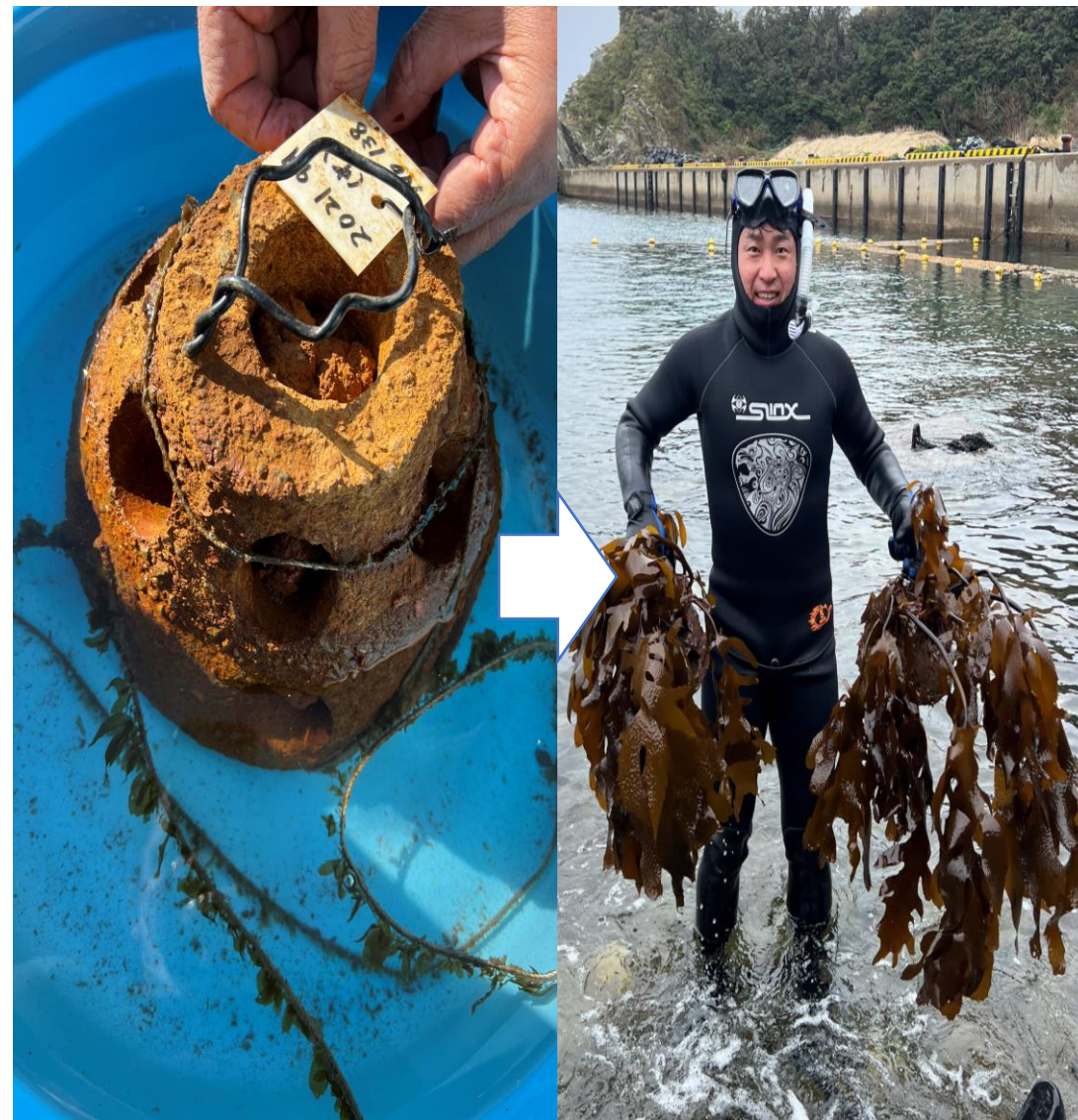
沿岸海域にイノベーションを。防災+藻場造成が可能に！

現在、九州・四国・北海道など全20カ所以上で実証中

- 波を消しながら海藻を育てる。
- 海藻の苗づくり。（2年2カ月経過時）



Depth: 3.10m; Temp: 17C



団体・企業等概要



ジャパンプルーエコノミー推進研究会(BERG) ブルーカーボン促進のための栄養塩供給管理プロジェクト

● プロジェクト概要と活動目的

二酸化炭素吸収・貯留の主体となる海洋生態系の保全・再生・創出の重要ファクターである栄養塩類（窒素、リン）の陸域からの供給管理のあり方を検討し、対応技術・施策の確立を目指す。

● 活動内容

- ①都市インフラ(主に下水道施設)を活用した栄養塩供給管理の検討
- ②大阪湾をモデル沿岸域としたフィールド調査・試験の実施
- ③栄養塩供給管理の前提となる規制や上位計画との整合性の検討
- ④対応技術の具体化と開発、情報発信、および啓蒙活動など

● プロジェクト構成員

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合(JBE)傘下BERGプロジェクトとして'23/3月に発足し、産官学17機関で推進中である。

プロジェクト構成員

- | | | |
|---------------------------|-------------------|----|
| 1)田中宏明 | 京大名誉教授、信州大特任教授 | 顧問 |
| 2)桑江朝比呂 | 国研・港湾空港研、JBE理事長 | 顧問 |
| 3)重村浩之 | 国交省・国総研、下水処理研究室長 | |
| 4)平山孝浩 | 国研・土木研、水質チーム主任研究員 | |
| 5)相馬明郎 | 大阪公立大教授、センタ長 | |
| 6)大塚耕司 | 大阪公立大教授、副学長 | |
| 7)久保篤史 | 静岡大・地球科学科、講師 | |
| 8)宮島利宏 | 東大・大気海洋研、助教 | |
| 9)藤田昌史 | 茨城大教授、GLEC副機構長 | |
| 10)株式会社東京設計事務所 | 技術開発室 | 幹事 |
| 11)JFEエンジニアリング株式会社 | 環境本部 | |
| 12)月島JFEアクアソリューション株式会社 | | 幹事 |
| 13)株式会社日立製作所 | 研究開発グループ | 幹事 |
| 14)神戸市(建設局下水道部、環境局、経済観光局) | | |
| 15)KDDI株式会社 | DX推進本部 | |
| 16)日建工学株式会社 | カーボンニュートラル推進室 | |
| 17)株式会社建設技術研究所 | | |

MOBAに関する現在の取組状況

大阪湾をモデル沿岸域とするフィールド調査やフィールド試験などを推進中

● フィールド調査

自治体(阪南市)、漁業組合の支援による藻場育成現場の調査



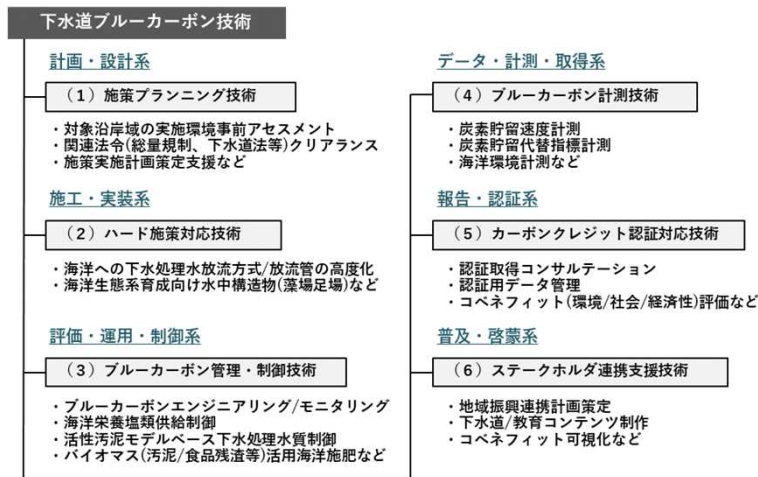
● フィールド試験

大阪公立大、研究機関(環農水研)などとの共同研究による科学的データ蓄積



● 技術体系の検討

栄養塩供給管理の課題と都市インフラ活用による対応技術の具体化



● ブルーカーボン啓蒙活動

栄養塩供給源(下水道)関係者向け公開セミナー実施と報告資料公開

下水道展 23札幌 開催企画

下水道での**能動的運転管理**による
豊かな海づくりとブルーカーボンへの
期待

- 下水道における栄養塩類供給の取り組み
- ブルーカーボンとしての役割

2023年
8月3日(木) 13:30-16:00

第1部 13:30-15:05 セミナーセッション

- 豊かな海の再生と季節別運転について
- 「豊かな海の再生に向けた下水道の取組」
国土交通省水管理・国土交通地下水道流域下水道計画課課長 須賀 正志
- 「豊かな海のための季節別運転～播磨灘の事例」
神戸海産物館 海水環境センター施設課 水環境係長 佐藤 礼次郎
- 脱炭素への貢献について
- 「ブルーカーボンを取り巻く最新動向」
ジャパンブルーエコノミー技術研究会専務理事 桑江 朝比呂
国立研究開発法人海産物技術研究所
- 「産官学プロジェクト紹介～下水道ブルーカーボン構想」
プロジェクト幹事会社:株式会社日立製作所 副所長 伊智朗

第2部 15:15-16:00 パネルディスカッション

テーマ:「栄養塩類の能動的運転管理への期待と展開」

- モデレーター: 京都大学特任教授 田中宏明





対話と共創を基に 新たな価値とありたい未来を創る！

環境・社会・経済が統合的に向上する持続可能な地域・経済圏づくりの推進及び地域脱炭素を通じた関西の活性化を目的として、関西SDGsプラットフォーム内に設置した分科会です。共に運営に関わってくれる方も大歓迎です。テーマ、セクション、ジェネレーション等をクロスさせることで、新たな事業創出に向けた出会いの場づくり、組織の壁を越えた実践者同士のネットワーク形成、地域活性化人材育成プログラムの開発・試行などに取り組みます。

分科会活動

- ・ローカルSDGs・脱炭素の実践に役立つ情報発信
- ・自治体と企業等の共創マッチング
- ・行政、金融、企業等の職員を対象にした地域活性化人材育成プログラムの検討・試行等

こんな団体にオススメ

- ・関西での地域づくり・まちづくり・ビジネスに取り組む団体
- ・企業/行政/大学/NPO等、属性を越えた実践者同士の出会いを求めている団体
- ・「対話」と「共創」を通して、新しい事業やビジネスを立ち上げたい団体

分科会員特典

- ・当会開催イベント申込みを先行でご案内！
- ・過去に開催したイベントの講演やトークセッションのアーカイブ動画を視聴可能！等々

入会について

申込みはこちらから→
(近畿地方環境事務所のHPへのリンク)

- ・会費無料



設立日

2023年1月31日

設立・運営主体

環境省近畿地方環境事務所

活動協力

近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）
経済産業省近畿経済産業局、財務省近畿財務局

会員数

110団体（2023年11月13日時点）

※企業、自治体、市民団体等様々な会員にご登録いただいています。

2023年度 主な活動実績

イベント実施結果



第1回トークセッション



第2回 自治体対話会



第3回起業家ピッチ



第4回 グループ対話

	第1回	第2回	第3回	第4回
日付	5/29	8/1	11/9	3/12
テーマ	地域循環共生圏	SDGs未来都市	社会起業家	大学連携
開催場所	QUINTBRIDGE (大阪市京橋)			事業構想大学院大学 大阪 (大阪市)
参加者(名)	197	150	67	69
現地参加(名)	85	86	60	39
Web参加(名)	112	64	7	30

主な登壇者と登壇テーマ

第1回	「これからの社会づくりツールとしての地域循環共生圏」 中井 徳太郎氏 (環境省前事務次官)
	「人口減少社会のデザイン 拡大成長から持続可能性へ」 広井 良典氏 (京都大学人と社会の未来研究院 教授)
	「成熟時代のまちづくり ～尼崎の事例から～」 稲村 和美氏 (前尼崎市長)
第2回	「SDGs未来都市 現状と今後の展望」 小西 晋一氏 (内閣府地方創生推進事務局 参事官補佐)
	「SDGs実践各地の事例と成果・発展へのポイント」 高木 超氏 (慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教)
	「官民連携 実践事例と秘訣」 長井 伸晃氏 (神戸市企画調整局調整課 課長 (SDGs推進担当))
第3回	「コングラントが実践してきたプラットフォームビジネスと資金調達法」 佐藤 正隆氏 (コングラント(株)CEO)
	「森と人をつなぐ、地域の木材でつくるきぐみのつみきKUMINOの実践」 井上 慎也氏 ((株)KUMINO CEO)
	「14歳から走り続けた私が今思う『ソーシャルビジネス』」 川口 加奈氏 (認定NPO法人Homedoor理事長)
第4回	「龍谷大学の取組」「洲本市での実践内容について」 的場 信敬 氏、櫻井 あかね氏(龍谷大学) / 高橋 壱氏(洲本市)
	「事業構想大学院大学の取組」等 大川 雄平氏 (事業構想大学院大学) 石原 健一朗氏 (ガイドードリンコ株) 他
	「1KSP / KSP 分科会/ 大学分科会について」 田和 正裕氏 (大阪大学 教授)

参加者の声

- スタッフの方々が、ダイレクトに色々な方とつながって下さって、本当によかったです。つなげていただいた方と、その後、早速カフェで更なる情報交換を行うことができ、今後の連携が進みそうです。グループトークなども随所で交流しやすい場づくりをありがとうございます。(第1回 民間企業)
- 他市町村のご担当者様の成功体験や苦勞をお伺いできる貴重な機会をいただきありがとうございました。市町村間の各取組の横展開につながられれば良いなと思いました。(第2回 地方公共団体 企画部門)
- ネットワークキングがアットホームな雰囲気、参加者と深い交流ができました。参加者との質の高い繋がりが得られたし、普段イベントでは得られないようなアイデアもいただきました。(第3回参加者 民間企業)



【お問い合わせ先】 ローカルSDGs・脱炭素分科会運営事務局
(環境省近畿地方環境事務所 地域循環共生圏・脱炭素推進グループ内)
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8番75号 E-mail: kspf@env.go.jp